



こうさ kota

議会だより

VOL.
114
2004 11月1日



荻谷小学校のいも堀り

- 2 坂崎小学校木造校舎改築など15年度決算概要
- 4 消防署と第2分団の消防車2台更新など9月定例会のあらまし
- 6 一般質問「避難所の耐震化」など7人がたず
- 13 委員会レポート…「幸田駅前旧オリオンの活用」 など
- 16 わが町を思う I LOVE TOWN



幸田町合併50周年

年度決算

坂崎小学校木造校舎改築

一般会計決算額 ()内は前年度

歳入 119億1,600万円 (110億 649万円)

歳出 113億3,685万円 (106億5,514万円)

今定例会は、15年度の決算を審議するため特別委員会を設置し、一般会計の他8つの特別会計を慎重に審議した結果、各会計とも原案どおり認定しました。

決算の概要

歳出の主なもの

前年度より、5億9,386万円減少しました。

・民生費

25億9,057万円

(前年比1.0%増)

・衛生費

10億4,227万円

(前年比20.6%増)

・農林水産業費

9億5,349万円

(前年比26.1%増)

・土木費

17億7,755万円

(前年比3.6%増)

・教育費

18億1,219万円

(前年比16.9%増)

・公債費

11億6,526万円

(前年比3.2%減)

建設事業の主なものは次のとおりです

- (1) 菱池保育園移転改築事業
3億7,580万円
15年度分工事費および備品購入費等です。
- (2) 一般廃棄物最終処分場建設事業
1億4,442万円
環境影響評価業務費および用地取得費等です。
- (3) (仮) 相見駅周辺開発整備事業
1億2,727万円
相見土地区画整理組合への補助金等です。
- (4) 幸田中央公園整備事業
5億3,789万円
公園整備費および用地買戻しの費用です。
- (5) 坂崎小学校木造校舎建設事業
1億4,532万円
坂崎小学校の木造校舎改築に要した費用です。

一般会計の決算内容は、前年度と比較して歳入で、9億951万円(8.3%)増加し、歳出においても、6億8,171万円(6.4%)増加しました。
町民税は、依然として厳しい雇用環境にあるため、個人所得割分は減収しましたが、自動車関連企業等の業績好調に支えられ、町民税全体では、4億3,628万円(15.8%)の増収となりました。

歳出では、衛生費の一般廃棄物最終処分場用地の取得、農林水産業費における農村振興整備事業の本格実施、土木費の幸田中央公園用地の一部買戻し、教育費は、坂崎小学校木造校舎改築など大幅に増加しました。
なお、幸田町の年度末の借入金総額は、一般会計・特別会計を合わせて、20億3,734万円となり、



図工の授業風景 (坂崎小学校)

老人福祉センターの 利用減少

決算総額

総額 181億円

(一般会計及び特別会計の歳出決算額の合計)



老人福祉センター

主な質疑

Q 固定資産税の
収入減は

A 固定資産税は、数年来増収傾向にあったが、今年度は、大きく減収となっている。その原因は、土地・建物の評価替えが行われ、評価基準の変更等もあり、土地・建物では、前年比1億4,863万円の減収となった。

Q 借地行政と
用地対策は

A 他に移転のできない学校・保育園等の用地が借地となっている。用地取得を推進する用地対策室等の専任者が必要ではないか。

Q 老人福祉センターの
利用減の対策は

A 老人福祉センターの利用者が減少しているが、その対策は、昭和53年6月オープン
の当センターは、施設の老朽化等もあり、利用者が減少している。利用を休止している風呂の問題を含めて施設整備を検討する。

は避けるが、必要な借地は適正な借地料の設定に努める。

基金の状況 (一般会計)

単位:万円

基金名	15年度末
教育基金	2億3,607
財調基金	11億2,189
都市整備基金	14億7,246
医療基金	4,004
福祉施設基金	1億1,824
計	29億8,870

特別会計等の決算状況

単位:万円

会計名		歳入	歳出	差引
特別会計	土地取得	5億2,599	5億0,523	2,076
	国民健康保険	20億5,474	19億8,061	7,413
	老人保健	18億7,333	18億6,633	700
	介護保険	8億3,716	8億1,373	2,343
	通所介護サービス	1,191	1,191	0
	農業集落排水事業	6億7,721	6億6,925	796
	下水道事業	9億2,158	9億0,747	1,411
水道事業会計 (税抜き)	収益的事業	6億3,399	5億9,289	4,110
	資本的事業	1億1,601	1億9,463	△7,862

環境にやさしい

消防自動車 2台更新

9月定例会は、2日に召集され、28日までの27日間の会期で開かれました。

教育委員会委員の任命他人事案件2件、補正予算関係7件、財産の取得について2件、15年度決算認定9会計の議案が上程され、いずれも原案どおり承認可決しました。

議員提出議案として、意見書の提出2件が上程され全員賛成で可決しました。

その他請願1件、陳情4件を審議し、請願と陳情2件を採択しました。

一般質問では、7人が登壇し、当面する町政の問題点などをいただきました。

■小型動力ポンプ付水槽車I型

契約金額

4,021万5千円

消防署に配備される。

■CDI型消防ポンプ車

契約金額

1,433万2,500円

第2分団に配備される。

こんな質疑が行われました

Q 車両の規格等は、現在のもので変わらないか。

A 消防ポンプ車は、同一規格であるが、水槽車はタンク容量が大きくなっている。

Q 旧車両の廃車手続に問題はなにか。また、その費用は。

A 廃車申請等は、消防署職員が手続きする。車両そのものは、納入業者の引取りとしている。

Q 国庫補助が県補助に切替えとなったが、町費の負担増は。

A 水槽車325万4千円、消防ポンプ車300万2千円の合計625万6千円負担増となる。



消防団放水訓練（平成16年度 幸田町防災訓練）

◆人事案件◆

教育委員・山科知瑞氏、石川明美氏、固定資産評価審査委員会委員・本多勝氏の任期満了にともない次の方を選任同意しました。

■教育委員会委員

橘 大圓氏

（新任・大草）

志賀伊都子氏

（新任・六栗）

（任期4年）

■固定資産評価審査委員会委員

都築 昭氏

（新任・東部）

（任期3年）

（以上、全員賛成で可決）

一般会計

9月補正予算

5,729万円

町民の要望に応じて、道路整備など7会計の補正予算議案が上程され、いずれ

も原案どおり全員賛成で可決しました。



大草地内の防犯灯



ごみ処理費の増額はなぜか

Q じん芥処理費3,955万円増額の事業内容は、

A 一般廃棄物収集処理事業および分別収集事業において、可燃ゴミの増加と新区分による分別収集の業務委託料増加等に対応するものである。

要望多い防犯灯増設を

Q 防犯灯設置工事費追加の事業内容は、

A 各区から要望された設置箇所のうち、支柱の新設が必要な14カ所を除く60カ所の設置を予定している。

会計別補正予算

- 一般会計 5,729万円
- 土地取得特別会計 0円
- 国民健康保険特別会計 (財源の変更) 1,241万円
- 老人保健特別会計 3,635万円
- 介護保険特別会計 725万円
- 集落排水事業特別会計 (財源の変更) 0円
- 下水道事業特別会計 (財源の変更) 0円

主な追加予算

<ul style="list-style-type: none"> 道路改良整備 5,000万円 町民要望に応える道路整備などの費用 	<ul style="list-style-type: none"> 生ゴミ堆肥化事業 減量対策の費用 60万円 林道開設 500万円 須美南山1号線開設の費用
<ul style="list-style-type: none"> 分別ゴミ運搬中間処理 2,157万円 分割増加にともなう運搬、中間処理の費用 	<ul style="list-style-type: none"> 防犯ブザー購入 中学生全員に貸与する費用 50万円
<ul style="list-style-type: none"> 一般廃棄物運搬 収集量増加に伴う業者の追加費用 1,736万円 	

請願・陳情等の審議結果

請願

- 義務教育費国庫負担制度の堅持と学級規模の縮小に関する請願書 (全員賛成で採択)

陳情

- 国民健康保険制度の健全な運営を図るため国に対しての陳情書 (全員賛成で採択)
- 義務教育諸学校の学校事務職員・栄養職員給与費の国庫負担制度からの適用除外に反対する陳情書 (全員賛成で採択)
- 教育基本法の改定ではなく、その理念の実現を求める陳情書 (反対18 賛成3で不採択)
- 国の責任で30人以下学級の実現を求める陳情書 (反対19 賛成2で不採択)

議員提出議案

- 義務教育費国庫負担制度の堅持と学級規模の縮小を求める意見書 (全員賛成で可決)
- 国民健康保険制度の健全な運営を図るため国の責任において必要な措置を講ずることを求める意見書 (全員賛成で可決)

質 問

耐震不安のない避難所を

可能な限り速やかに対応する



伊藤 宗次 議員

問 町が指定する避難所62カ所は、「災害時に住民が安心して身を寄せられ、建物自体の安全性が確保されていること」と、防災計画書で定めているが、62カ所の71%、44カ所が耐震診断が必要で、まだ24カ所が診断もされていない。いつまでに診断を終えるのか。

町長 24カ所の避難所の耐震診断は来年度にも実施する。耐震工事は1カ所で1億円前後の経費が必要となることから、直ちに何年で補強を終了するとは断言できないが、よく検討して、可能な限り速やかに対応していきたい。

助役 各小学校の体育館を基幹避難所として決め、耐震補強をはじめ、防災資材等の整備を計画し、平成19年度までにおおむねの耐震整備を図る計画で取り組んでいる。

問 障害者の社会参加を支援する福祉タクシー券1枚は、送迎料金と基本料金を助成し、基本料金を超えた料金は自己負担である。自己負担額を調査し、運賃にも使用できるように百円券、500円券に改善し、障害者の自己決定、自己責任で使用できる福祉タクシー券に改善を。

福祉部長 現在のチケット方式は一応の成果を得ていると認識しているが、利用者が利用しやすい方法を検討していく。今後も利用率向上のために大いにPRを重ねていく。風呂問題は、老人クラブへのアンケート結果を重視して、健康機器の充実をしたものである。今後、ニーズの合う方法で検討していく。

町長 タクシーは可能な限り対応していく必要があると思うが、近隣市町と比較して、幸田町は手厚い対応をしていることをご理解いただきたい。

百円500円の福祉タクシー券を

利用しやすい方法で検討する



福祉タクシー

ここが聞きたい

Q & A 一般



丸山 千代子 議員

幸田中学校体育館は建て替えを 新築を含めて検討する

【問】 幸田中学校体育館と中央公民館は一体となっており、昭和43年建設され、すでに36年が経過している。しかも、「ごんごん体育館」の異名をもつ幸田中学校体育館は、昔が中央公民館に響いてうるさく、老朽化も目立ってきている。耐震診断では、1S値0.05で危険性が高く、耐震補強対策の見積りでは3億円の工事費がかかるといわれている。建物も36年経過しており投資効果は期待できない。幸田中学校体育館と中央公民館は新築すべきではないか。

【教育部長】 現在、耐震補強の実施設計業務委託を中断して、音および老朽化対策と費用対効果、財政面等、総合的に検討しているところである。

【町長】 中学校の体育館をつくるだけであれば簡単であるが、同時に公民館も生涯学習の拠点として大事である。捨てておけない。耐震補強をしても本当に良い形で利用できるか疑問であり、床を改修するだけで3億円前後かかる。17年度予算で対応できるか、新築等を含めて検討していく。

【問】 幸田町には児童館が3カ所しかなく、子どもの居場所が少ない。次世代育成支援行動計画のアンケート調査でも、働きのながら子育てできる環境づくり、安全な遊び場の確保等、児童館や学童保育な

幸田小学校
区に児童
センターを

どの要望が高い。なかでも、児童数の多い幸田小学校区において児童館を要望する声が多い。しかも、放課後対策の児童クラブは、体育館の会議室と併用しているため使いにくく、夏場は暑くてぐったりしてしまう。学童保育室を備えた児童センターの建設を。

地元の理解
と協力を
前提とする

【福祉部長】 県は、幸田町の児童館の数は、人口等から100%整備されていると認識している。中学校区に1カ所が基準としてつくられている状況下で、国・県等の補助金で建設することは難しい。しかし、既存の施設を含めてさらに整備充実の必要性があり、今後検討させていただく。

【町長】 幸田学区、とりわけ大草区の理解と協力が得られれば、土地を取得して対応する道を探りたい。



太極拳教室（中央公民館にて）



羽根淵 保博 議員

林道の計画的な整備促進を

多面的機能を果たす10カ年計画

問 本町の里山に囲まれた自然地形は、水源涵養をはじめとする地球環境の保全に大きく貢献しており、町民に計り知れない安らぎと活力を与えてくれる貴重な財産となっている。

この自然の恵みを大切にする里山の保全には、林道整備が必須の課題である。

(1) 最近数年間の林道開設と補修の実態を問う。

(2) 今後の対応指針である本町の森林整備事業計画・数値目標を問う。

(3) 林道・健康の道は、里山保全にも大きく役立っており、大井池休憩所トイレの水道故障等は、ぜひ改修してほしい。

建設部長 管理林道は24路線、総延長は28.4kmである。

(1) 10年間の林道事業は、開設3路線約1,600m、費用約3億円である。補修費は約2,600万円である。

(2) 13年度を初年度とし、山林の多面的な機能を果たす10カ年の整備計画を立てている。

具体的数値目標はない。(3) 大井池の周辺整備として防災ダム事業と一体的な整備をしていく。



健康の道（林道鷲ヶ峯線）

共有林管理の改善策に支援を

問 大草区には、古くから入会（いりあい）林野があり、昭和40年代に整備事業

を行って、区民276名の共有林を持つこととした。現在の共有林は、共有林管理組合の12名の役員により維持・管理されているが多くの問題点がある。組合費の徴収や役員自らが山仕事を行うなどの作業負担が大きく、そして最大のネックには、共有地権者の相続の問題がある。地元組織を整えて、問題解決に努めるべきものではないが、町当局の側面的な支援をお願いしたい。

可能な限り側面的支援をする

建設部長 山林は森林薄のみで管理しており、その共有の実体は把握していない。

本来所有者が個人か共有かの違いであり、基本的には所有者の責任管理であり、町の指導は困難である。

町長 今後関係者の総意で進められる方向になり、相談を受ければ町として、可能な限り側面的な支援をしていく。



水野 千代子 議員

青少年の健全育成について

積極的に取り組む

- 問** 少年犯罪の中で、錠剤型の合成麻薬MDMAを中心に、薬物乱用が低年齢化し、急増している。薬物汚染から子どもたちを守るために、正しい知識を身につけ、はっきりと「ノー」と断わる事が大切である。
- (1) 全小・中学校で薬物乱用防止教室の開催について問う。
- (2) 医師・薬剤師等による薬物乱用などが及ぼす健康被害に対する講演会の開催について問う。
- (3) 家庭を含む地域に対する薬物乱用防止の啓発の取組みについて問う。
- 教育部長**
- (1) 小学校では実施していないが、中学校では、年1回開催、今後も継続する。
- (2) 中学校では、14年度から警察、麻薬Gメンの講演会を開催している。今後も積極的に実施していく。
- 助役**
- (3) 夏祭り、映画鑑賞会、彦左まつりのパレード等で啓発チラシ、パンフレットを配布している。

今後は、警察と連携して、家族、地域ぐるみの講習会、講演会および総決起大会を計画している。

母子保健 事業について

- 問** 不妊に悩む夫婦は、10組に1組いると言われている。治療費も総額が100万円を超える夫婦が全体の4割以上を占め、経済面や精神面の十分な公的支援が必要である。国は16年4月から不妊治療に対する助成制度「特定不妊治療費助成事業」をスタートさせている。
- (1) 本町として、不妊検査治療、人工授精が対象の「不妊治療費助成」の単独事業について問う。
- (2) 不妊に悩んでいる夫婦の相談窓口の設置について問う。

近隣の状況 を見て検討

- 福祉部長**
- (1) 不妊治療の状況、制度の問題は、近隣の状況を見て検討して行く。
- (2) 県の不妊専門事業とし

て、名大病院に委託し専門家による無料相談窓口を開設している。なお、地域の保健所でも、相談できる。

保健センターでは、内容が十分説明できる担当がいないので、西尾保健所へお願いしている。

このような内容をPRして全体に広めていく。



防犯パレード

入札制度改革の検討を

今後とも研究していく



成瀬 克己 議員

問 公共工事の不正入札に端を発し、国交省は電子入札制度を本格導入、愛知県は市町村と共同でシステム開発し、平成18年度から一部導入する。
安城市は独自に導入すべく予算化した。
(1) 電子入札制度に対する町の考えと、システム開発における本町と県との関係は。
(2) 中小建設業者が多い本町の現状で、県に連動して電子入札制度の導入は業者育成面等で問題もあり、その対応策を検討すべく早期に検討委員会の設置を提言するが、その考えは。

答 (1) 電子入札は、談合等不正行為の防止と、事務の効率化という点で評価できる。
現在、県は電子入札システムを代表の市町村の職員も加えて研究開発中であるが、本町は代表の市町村となっていない。
(2) 現在本町が実施している事業量、業者数などから、今すぐ電子入札制度を導入という環境ではないが、避けて通れない問題だと考える。

地方自治に
団塊の
世代を

問 住民自治の重要性が叫ばれる中、団塊の世代は今後60歳という区切りの年を迎える。この中には深い知識や経験を有した人も多い。これらの人を住民自治にうまく生かす仕組み作りが必要と思う。以下考えを問う。
(1) 各種委員会や公共施設の職員の兼職数の制限、公募制の拡大、採用の透明化について。
(2) 縦割り組織のボランティア活動体系を横断的に一元化し、ボランティア推進室の設置について。
(3) 個人の得意分野の事前登録制度化について。

公募で
審議会に
15人採用



入札風景

答 (1) 社会貢献や生きがいなど、生涯学習を通じて活動の場を広めるシステムづくりを考える。
(1) 適任な人材確保の配置に配慮する。
平成13年度から区長会や広報で公募制の採用をPR、12の審議会に15人の公募者を採用した。
(2) 社会福祉協議会を窓口として、平成9年にボランティアや連絡協議会を発足した。現在16団体が登録されている。
(3) 任意の登録制度ではあるが、平成10年度から生涯学習分野の指導者として70人が登録されている。

総務部長 国において契約適正化法が施行され、町も平成15年10月から予定価格の事前公表など、法律の趣旨に沿った取組みをしている。

総務部長 国において契約適正化法が施行され、町も平成15年10月から予定価格の事前公表など、法律の趣旨に沿った取組みをしている。

総務部長 社会貢献や生きがいなど、生涯学習を通じて活動の場を広めるシステムづくりを考える。
(1) 適任な人材確保の配置



杉浦 務 議員

道路整備計画は

交差点工事17年度完了予定



国道23号と県道蒲郡碧南線との交差点

- 問** 一般国道23号の安全対策と都市計画道路上六栗線の計画を問う。
- 一般国道23号
 - (1) 上六栗地内に一部歩道の未設置がある。その設置の見直しは。
 - (2) 県道蒲郡碧南線との交差点改良工事の進捗状況と完了の見直しは。
 - 都市計画道路上六栗線
 - (1) 計画道路の用地買収は

- どのようになっているのか。
- 建設部長**
- (1) 一般国道23号
 - (1) 地権者の理解と協力が得られるなら整備の取り組みをする。用地確保のために誠意をもって努力を続ける。
 - (2) 計画からの経過と現状および今後の計画は。

- (2) 用地測量と物件調査を実施した。16年度用地買収説明会を開催、契約完了次第改良工事を実施。
- 都市計画道路上六栗線
 - (1) 国道248号から県道幸田幡豆線まで用地測量を実施。地権者説明会を経て平成8年に用地買収は終わっている。
 - (2) 早期事業着手を要望し働きかけをしているが、現状、県は検討課題としている。

家庭系可燃ゴミ減量対策

- 問** 増え続ける可燃ゴミの搬出マナー・減量・生ゴミのリサイクル事業の考えを問う。
- (1) 行政・地域住民・環境監視員等と警察が連携して、不法投棄一掃の方策はないか。
 - (2) ゴミ減量の方策として指定袋の負担増の考えは。
 - (3) 堆肥化事業の設備費・運営費・堆肥の肥料とし

- 参事**
- (1) 立て看板を立てたり監視員の見回り活動をしている。ゴミの分け方、出し方などチラシを配布、指導啓発に取り組んでいる。
 - (2) 指定袋はゴミ処理費の一部を負担していただいている。ごみ袋の負担増、手数料など今後検討する。
 - (3) 堆肥の成分調整ができずに安定的な処理が困難で苦慮している。
 - (4) 事業のメリットは多い。国庫補助・民間資金の活用・維持管理コストなど十分な情報収集を行う。技術革新など調査、研究に取り組む。

国はゴミ処理有料化も議論

- ての分析・供給等の検討はされたのか。
- (4) バイオマス事業の検討はされたのか、その考えは。

共同墓地の造成を

町が造成・斡旋をしていく



鈴木 三津男 議員

【参事】 町内には76カ所の共同墓地またはお寺の所有する墓地があり、区画数は約1万個。管理は地元関係者またはお寺がしている。町の管理墓地はない。

墓地の大規模開発は地権者・法規制などの問題が多いが、一定規模用地を町が

【問】 先人達の積極的な優良企業誘致施策が功を奏したわが町は、50年前と比較して人口は2倍に増加するほどに発展してきた。町内に定住を希望する方の多くは、墓地の取得を望んでいる。

第4次幸田町総合計画書によれば「墓園の整備・充実、墓地用地の確保」とあるが、具体性に欠けるため、次のことを問う。

(1) 町内に公営及び共同墓地ほどの程度あるか。

(2) 町民のニーズに応えて、墓地の造成・斡旋をすべきではないか。

確保・造成し、町民の方々に斡旋することは可能である。

幸田に安心して定住していただくためにも、共同墓地を町として斡旋していきたい。

【町長】 用地斡旋を前提に、具体化に取り組んでいく。

弓道場の早期新設を望む

【問】 体育協会の各団体は、町当局との連携の中で数少

ない施設を創意工夫し、最大限の有効利用をしているが、スポーツ振興のためにはさらなる社会体育施設の充実が必要である。その考えを問う。

(1) ソフトボール場として使用していた防災広場が使用不可となる。その代



北部中学校弓道部

替地を考えているか。

(2) 近隣2市5町で公立の弓道場がないのは幸田町のみであり、弓道振興のためにも、ぜひ、町立弓道場の早期新設を望む。

建設を具体化していく

【教育部長】 ソフトボール場が不足していることは認識しており、整備に今後も努力する考えである。

弓道場は、礼儀作法ができる程度の小規模道場の建設を第4次総合計画で位置付けている。前向きな努力をする。

【町長】 ソフトボール場の代替地として、農村総合整備事業で建設する仮称南部運動場を目下検討している。

弓道場は町の中心的な場所を候補地として、国や県の助成の問題などを探りながら、建設を具体化していきたい。

公務員給与改定

見送り

8月24日協議会が開かれ、平成16年度人事院勧告の「給与勧告の骨子」について説明を受けました。

本年度は公務員給与が民間給与を下回るが、月例給与は官民格差39円で極めて小さく、官民均衡が図られ

ているとの見解です。

期末・勤勉手当の支給率も4・4カ月で官民が、おむね均衡しており総合的に勘案した結果、給与改定

等は見送るとの説明でした。委員から、将来の展望に立った公務員制度改革、人

事院の人事管理に関する骨子について、町の考えをた

だしました。

町は、能力・実績を総合的に評価する制度を今後検討し、生活給と職能給評価は、職能給にシフトしていく必要がある、新たな評価制度について、今後職員組合とも協議しながら取り組むとのことでした。



庁舎2階事務室

震災危機管理とIT行政の研修

8月10日から12日の3日間、兵庫県神戸市と北淡町および岡山県新見市を視察しました。

■人と防災未来館

平成7年1月の阪神淡路大震災発生直後の崩壊するビルや高架道路、家屋の倒壊、人命救助、諸団体の支援活動などをリアルな映像から実感しました。

語り部は、当時芦屋市職員で災害対策本部員としての体験から、住民の助け合いが大切だと力説されました。

■北淡町災害対策

消防団が地域の実情を把握しており、家屋下敷きになっていた被害者を救出し、当日中行方不明者が無いことを確認できました。

消防団と住民が常に一体となっていた証しであると説明されました。

■新見市ITの活用

広域情報通信ネットワーク基盤整備事業（総務省補助事業）でITを活用。電子投票など行政事務の電子化・情報化の取り組みが推進されていました。



北淡町震災記念公園

産業建設

幸田駅前旧オリオンの有効活用

・8月20日協議会の主な内容

■旧オリオン（町所有の土地建物）の有効活用について

商工会から無償貸付の要望が出されました。有効活用はよいが、建物の耐震性についての問題が指摘されました。

町は、借主において対応してもらおうという答弁でした。委員から、部分貸しでなく全体を貸すこととし、責任を明確にすべきで、併せて若い人から高齢者の方まで幅広く利用できるように、また、契約には借地借家法に沿って期限を定めておくべきとの意見が出され

ました。■農業共済組合等地域再編整備計画について平成18年1月1日、岡崎市と額田町の合併が予定されるため、同組合議員定数削減と負担金割合について協議しました。現議員定数は岡崎10、幸田4、額田3の17名。これを岡崎11、幸田4の15名とする事務局案に対し、さらなる削減をとの意見も出されました。なお、負担金の割合は均等割、加入者割、事業規模点数割で構成されています。



旧オリオン

花いっぱい運動 二宮町他視察

■7月21日から23日まで、3県を視察

住民、地元企業に道路、公園等の清掃などを継続的に面倒をみてもらい、一方では市が安全のための保険加入や、清掃活動に必要な支援を行う「まち美化システム」でした。

■栃木県二宮町 二宮金次郎が生涯の大部分を奉職し、歴史上の偉業を残したことで有名な町です。

すでに17団体400名余の里親制度登録者もあり、活発な活動が展開されていました。保険の補償内容は里親登録者本人は最高500万円、他者に対しては1人最高1億円、1事故10億円までの補償です。

■茨城県取手市 「公共施設の里親制度」

自分たちの住む町は、自分たちで美しく心がけているようすがうかがわれました。

延々と続いており花の季節であったら見事であろうと思われました。

主要道路には桜並木が延々と続いており花の季節であったら見事であろうと思われました。



二宮町「花いっぱい運動」を視察

上六栗保育園 統合される



上六栗保育園

8月19日協議会が開催され、現在第7次行政改革で
 ① 保育料の見直し
 ② 保育園運営の民間委託
 ③ 保育園の統廃合
 の3項目が検討されており、保育行政のあり方について今後の考え方が報告されました。
 特に17年度から上六栗保育園は、豊坂保育園の分園とし、3歳以上児の募集は停止して3歳未満児保育を主体としていきたいとの考えが示されました。

園児は、豊坂保育園の分園とし、3歳以上児の募集は停止して3歳未満児保育を主体としていきたいとの考えが示されました。
 委員から、「地域の子どもが少なくなってきたことで、統合はやむを得ないと思うが地元には十分な説明をすべきだ。」と来年度4歳児5人、5歳児6人だけで色々な行事がやっていけるのか、一気に豊坂保育園へ入所ということにならないのか」等の意見があり、町は、「地元、保護者の皆さんに考えて頂き、決めていきたい」との答弁でした。
 また、委員から、「上六栗保育園を乳児主体の園に変えていく考えは、一定の評価をする」との意見もありました。
 町長は、「民営化等について、17年度までに一定の結論を出す方向であるが、慎重に進めたい」との見解を示しました。

追跡

一般質問その後 どうなった

その後

乳児室と調理室を優先して設置
 3歳未満児室と調理室およびお昼寝の場所としている部屋（遊戯室等）はすべて設置した。
 今後も計画的な設置について検討する。

その後

駐在所の増設
 県への要望は、文書で議会終了後ただちにを行ったが、実現できていない。
 今後も県に強く要望していく。

Q 保育園にクローラ設置を
A 年次計画で順次整備

Q 防犯体制の強化策は
A 駐在所の増設を県に申請する

平成14年9月議会

平成15年12月議会



坂崎駐在所前

わが町を思う

I LOVE TOWN

〔幸田区〕

小田重一郎さん



幸田町の表玄関

幸田駅は先人の努力により明治41年9月11日に開業致しました。以来、地元の方により駅前周辺はめざましい発展を遂げました。

私達は駅を利用し駅前商店で買物をしながら暮らしを共にしてきました。しかし時代と共に不況の波が早く、取り巻く環境の変化により事態が悪化し厳しい状況になりました。

悪条件の中にあっても、ひたすらみなで智慧を出し合い助け合いながら真剣にがんばっています。

駅前周辺の地元への交流を大切にしていきながら、苦勞を顔に出さずに対応している姿に感心致します。この様な人々の努力を無駄にすることなく、幸田町の表玄関としてふさわしい景観整備をし、難問山積の

中でも先人の思いを込め、幸田町の中心としての顔づくりを積極的に進めていく必要があると思います。

祈。私の防災



先日、大きな地震が2回続けてありました。

午後7時頃の地震の時は、電話中、相手に「地震だ！切るよ」と言っ慌てただけ、そして夜中の地震は早く止まると祈るだけ。

そう言えば以前、防災袋に軍手、新聞紙、カンパン、へそくりを入れた覚えはあるものの今どこに？

我家唯一、三河大地震の体験者の母は揺れる度に何回も物凄さを語りますが、



私には実感が湧きません。深溝には、深溝断層という紛れもない真実の証があります。近い将来必ず大きな地震があるとも言います。

この際、防災用品、家具の転倒防止、避難場所の確認など家族で話し合いをした方がよいと思います。

天災は忘れた頃に？でも今は来ない様に祈るだけ！



編集後記



「地球は太陽の周りを回っている」(地動説) 56%。「太陽は地球の周りを回っている」(天動説) 42%。

全国の小学4年から6年生を対象にした、国立天文台などの調査結果。

コペルニクスが地動説を唱えたのは、今から64年前の1540年。科学の時代にしては心もとなさすぎる。

太陽が沈む方向を「西」と答えた子どもは73%にとどまる。

10億年のかなたの宇宙激動を、国立天文台のすばる望遠鏡がとらえ、大きな銀河が重力で小さな銀河を壊し、のみこんでいく……

満天の星の下で「宇宙の果てはどこ？」の悩ましい疑問で寝つかれない。あかね色の夕日に息をのむ。そんな体験はもう少ないのでしょうか。

秋の夜長に星空を。冬の星座を子どもたちと天を仰ぐいい機会にしたい。

あなたも議会を傍聴してみませんか

12月定例議会の本会議は、下記のとおり行う予定です。

●会期の日程

- 3日(金) 開会、議案の説明
- 7日(火) 一般質問
- 8日(水) 一般質問
- 9日(木) 議案の質疑
- 10日(金) 議案の質疑
- 24日(金) 討論・採決、閉会

●場所 役場5階 議場

●時間 午前9時から

◎詳しくは議会事務局へ

0564-63-5151

発行/愛知県瀬田郡幸田町議会 編集/議会広報特別委員会
住所 下444-0192 愛知県瀬田郡幸田町大字愛池字元林1番地1
TEL(0564)63-5151 FAX(0564)63-6970